

令和5年度水産審議会 栽培・養殖・流通部会の概要

開催日：令和6年2月28日（水）13：30～15：00

出席委員：8名（委員数10名）

1 協議事項

(1) 副部会長の選任について

小濱委員が副部会長に選任された。

(2) 令和5年度種苗生産結果及び令和6年度種苗生産等計画（案）について

県栽培漁業センターの令和5年度種苗生産結果及び令和6年度種苗生産等計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。概要は以下のとおり。

- ・令和5年度の種苗生産実績は、全ての魚種で当初計画数量以上であった。
- ・他県との種苗交換は、例年と同様の内容で実施した。
- ・令和5年度重要稚仔放流事業（海面）では、県が生産する種苗以外にマダコ等の種苗放流について、県の補助事業で実施した。
- ・令和6年度種苗生産計画（案）については、各魚種への要望等を考慮し資料のとおり作成した。
- ・令和6年度の種苗販売単価、種苗交換については、大阪府のキジハタ（50mm サイズ）と本県のヒラメ（30mm サイズ）の種苗交換を新たに実施する予定である。

■委員からは、「サワラは一時期増えたがまた減り始めている。瀬戸内海で（他県と）連携して資源管理について国に要望してはどうか」、「様々な魚種の漁獲量が減っているが、放流の方法は適当か」等の意見があった。

(3) 令和6年度魚類養殖にかかる対応策（案）について

魚種別養殖状況、ハマチの出荷状況、3年ハマチの試験養殖結果等から検討した令和6年度の魚類養殖に係る対応策について説明し、原案のとおり承認された。

■委員からは、「海外の単価の高いところに販売しないと厳しい」、「アメリカにブリの需要はあるが、アメリカではヒラマサの陸上養殖が行われており、商品が被ると逆に日本にヒラマサが輸入されてくる危険があるので、オリーブハマチ・ブリは品質の面でより差別化を進めてはどうか」等の意見があった。

(4) 令和5年度藻類養殖事業結果及び令和6年度藻類養殖事業計画（案）について

令和5年度藻類養殖事業結果及び令和6年度藻類養殖事業計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。

■委員からは、「（陸上施肥について）肥料の種類によって吸収が違うので、うまみ成分も含めてデータをとってほしい」、「色落ちのノリも商品価値はあると思うので、利用方法

を考えてはどうか」等の意見があった。

2 報告事項

(1) 香川県水産業基本計画の進行管理について

令和3年に策定された「香川県水産業基本計画」の展開方向のうち、「1. 魅力ある養殖水産物作り」、「2. 地魚の供給強化」、「3. 地魚の供給強化戦略的な販売・消費拡大」、について、令和5年度の実績と成果、次年度以降の実績と課題について報告した。

3 その他について

「三倍体種苗を用いたカキ養殖」、「香川県栄養塩管理計画（素案）」について、現状報告を行った。